



The Daily MANILA SHIMBUN

ASIAN INTERNATIONAL COMMUNITY INFORMATION, INC. (Printer-Distributor)

ALICI, Manila Shimbun Building, 1037 Teresa Street, Rizal Village, Makati City

Tel. 890-4546 / 890-4745 Fax. 890-3640

Since 1992 P70.00 in METRO MANILA

発行びすく社 東京都世田谷区玉川2-9-15



Table with weather forecast for Manila and other cities, including temperature and precipitation data.

Table with exchange rates for various currencies and financial data.

Table with stock market information, including Nikkei index and company stock prices.

Table with news highlights for the day, including international news and local events.

# 日本大使館付近で拳銃強盗

## 邦人男性撃ち現金などを奪う

首都圏警察サイ市の日本大使館から約100メートル離れた路上で、8日午前8時10分ごろ、翻訳会社社長の日本人男性43歳横濱市出身が、拳銃で腰部を撃たれ負傷、円やドルを含め現金計約120万ペソ相当が入ったかばんを奪われた。犯人は1人で、犯行後オートバイで逃走した。

# 問題の展示を中止

## 相次ぐ脅迫など事態重視

フィリピン文化センター(CCP)で、首都圏サイ市は9日、「神聖を汚す」とカトリック司教、信者らから非難が集まっていた展示を中止した。展示は6月17日に始まり、8月21日まで行われる予定だった。CCPは9日発表した声明で、中止決定の理由を「幹部や関係者、所有者に対する脅迫行為が増加したため」と説明。作品に対する非難にとどまらず、4日には鑑賞に訪れた男女が作品の一部を破壊し、放火しようとしたと、幹部らが相次いで脅迫メールなどを相次いだとし、事態を重く受け止めたという。



座り込んで抗議するカトリック団体のメンバーら＝9日午後4時ごろ、首都圏サイ市比文化センター入り口前で写す

連盟議員を表敬訪問 就籍で支援を約束 日系2世 日本国籍記載を申し立てて日本に滞在の比残留日本人(日系2世)7人が9日午後、親族世代に付き添われ、東京都千代田区の衆議院第2議員会館に比残留日本人問題等議員連盟幹事長の下地幹郎衆議院議員(国民新)

3営業日続落 比総合株価指数 世界の金融市場で株安が続く中、9日の比証券取引所(PSE)の総合株価指数は、前日比174.4・21ポイント減の4157.03で、

平和交渉の再開控え MIFL関係者が交戦 22日に再開する比政府とイスラム急進派、モロ・イスラム解放戦線(MILF)の和平交渉を前に、ミンダナオ地方マギンダナオ州ダトゥピアン町郊外で9日朝

前大統領も出国監視下に 不正疑惑 司法長官、入管に命令 告発受け シリアノ元中央選挙委員、アロヨ前大統領は不正疑惑に連関して、デリマ司法長官は9日、略奪容疑などで告発されたアロヨ前大統領を出国監視対象者リストに入れるよう入管管理局に命令した。

大統領の任命権は違憲 延期法案 口頭弁論で原告団 イスラム教徒自治区(AARM)知事選延期法案の違憲性をめぐる裁判で、最高裁は9日、第1回口頭弁論を開いた。

50世帯焼け出される 首都圏パラニャケ市タシボの民家で7日、火災が発生。約2時間後に鎮火したが、火は周辺の民家へ燃え移り約50世帯が焼け出された。死者はいない。パラニャケ市消防局は、続く中、9日の比証券取引所(PSE)の総合株価指数は、前日比174.4・21ポイント減の4157.03で、

服装規定を徹底 入管管理局 入管管理局はこのほど、首都圏サイ市イントラロスにある同局本部に出入りする際、ドレスコード(服装規定)の厳格化を始め、これまで徹底されておらず、短パンにサンダル履きの外国人が同局本部に出

8月下旬に交渉再開 対MIFLと和平 比政府とイスラム急進派、モロ・イスラム解放戦線(MILF)は8月22日に仲介国、マレーシアの首都クアラルンプールで公式

哲志(自民)の各衆議院議員 会合冒頭、支援活動をしていたフィリピン日系人リガルサポーターセンター(PNLSC、東京都新宿区)の理事、青木秀茂弁護士が、これまでの就籍活動の経緯を説明し、比政府が出した日系2世の公的認証を日本政府も認めるよう働きかけしてほしいと訴えた。

元学部長は、大統領任命はイスラム教徒の権利を奪い取る、地方自治体における市民権保障の侵害に相当する、と述べた。

マニラ新聞配達区外にお住まいの方は、ホームページのご購読をおすすめします。 早朝5時からマニラ新聞1面の全文を読むことができ、過去記事の検索・閲覧も可能です。 1ヶ月1,000(6か月毎の契約です)より。 詳細はホームページ上の「Webでのニュース購読」をクリックしてください。 http://manila-shimbun.com

毎朝食卓で「フィリピン」が読める日刊マニラ新聞 【代表】 ☎890-4546, 890-4745 Fax. 890-3640 【広告部】 ☎890-8480 Telefax. 895-4245 ☎897-3732 【編集部】 ☎895-3663, 890-3699 Fax. 890-4395 【顧客サービス】 ☎895-4159 【セブ支局】 ☎(032)343-8911